

12. 人権文化センターを拠点とする事業を紹介します

宝塚の人権啓発は、家庭、地域、学校、職場などあらゆる場において実施されています。その場所は、公民館、集会所、男女共同参画センター、国際・文化センター、各種福祉センターなどであったり、街角の公園や憩いの場やあなた自身のご家庭であったりしますが、とりわけ、宝塚にある3つの「人権文化センター」はその拠点です。

「人権文化センター」は2002年（平成14年）4月、人権尊重の理念を基本により多くの人々が親しみを持てるよう「隣保館」から名称を変更し、人権が保障されお互いに尊び合うことのできる人権文化の創造と推進を図り、部落問題をはじめとしたいろいろな人権問題の速やかな解決を目的として運営されています。そして、最近により開かれた施設として、住民の交流をより盛んにする中で、人権・部落問題の教育と啓発の中心的役割を担って取り組みが行われています。

いくつかの取り組みを紹介します。

(1) 図書館の利用

図書館は地域の誰もが利用できます。特に、子どもたちが利用しやすい工夫がされています。

例えば、子ども向け読み物や学習に役立つ本が多数置かれ、読書マラソンやお話会などが開催されたり、学習机が置かれて学びの場にもなっています。

なお、月～金曜日の13時から17時（土曜日は9時から17時）は、専任職員が常駐しています。



〔まいたに・センター図書館〕

(2) 自主学習支援

各人権文化センターには「自習室」が設けられ、ここで自由に勉強したりすることができます。年間45回、自主学習支援員が配置され宿題や勉強などの自主学習を支援しています。

自習室の利用時間や自主学習支援員が配置されている日については、各人権文化センターにお問い合わせください。



〔ひらい・自主学習支援〕

くらんど人権文化センター TEL:0797-73-2222 FAX:0797-73-2223	まいたに人権文化センター TEL:0797-84-4500 FAX:0797-84-4463	ひらい人権文化センター TEL:0797-88-2795 FAX:0797-88-2774
		

(3) 体験から学ぶ人権講座

子どもや保護者向けの人権学習会です。仲間づくりや人権文化創造の基礎力を養っています。

たくさん子どもたちが地域の人たちや学校の先生たちと学び合っています。学んだ成果はサマーキャンプや解放文化祭での発表へとつながっています。主な講座は次の通りです。

くらんど	わくわく子ども太鼓（太鼓練習・演奏・発表） わくわくまつりの創造（夕涼み会・地域学習・子どもフェスティバル・多文化交流）
まいたに	わくわく発見！（人権学習、伝統文化体験、 多文化共生学習、調理実習） ほのぼの親子体験（工作・お話会・親子体験）
ひらい	人権わくわく学級（地域学習・昔遊び・多文化交流）



〔くらんど・わくわく子ども太鼓〕

(4) 識字教室

差別によって学ぶ機会を奪われたり、様々な事情で文字が書けない人たちのための教室です。(宝塚は1963年開始)

2002年(平成14年)に「識字学級」から「識字教室」に名前が変わりました。もともと部落問題解消のために設けられたもので、ただ単に文字を覚えるためだけの教室ではありません。学ぶことによって物事への考えが深くなり人との交流ができ差別が何であったのかが学べる教室です。

識字教室で学んでいる人たちは小・中学校との交流学習などを通じて人権啓発にも取り組んでいます。



[くらんど・識字教室]

・講師は近隣学校の先生や元校長先生です

(5) 解放文化祭

解放文化祭は人権文化センターでの学びの発表であり、人権啓発の取り組みを紹介する場です。

人権文化センターの最大のイベントでもあり、子どもたち、高齢者の人たちをはじめ地域の人たちやセンター利用団体などみんなが楽しみにして参加しています。近隣の学校や幼稚園、保育所の子どもたちも参加したり、見学したりしています。2023年度(令和5年度)に実施された内容を紹介します。

くらんど 10月26・27日	まいたに 11月9・10日	ひらい 11月10・11日
・人権問題講演会 ・わくわく子どもフェスティバル ・わくわく子ども太鼓 ・和太鼓楽団「熱光」 ・昔の食試食会 ・定例講座展示 ・保・小・中の作品発表 ・識字教室展示 ・その他各種展示と模擬店	・人権講演会 ・わくわく発見!発表会 ・保・幼・小・中の作品発表 ・識字教室展示 ・工作コーナー ・LGBTQ+のDVD上映 ・その他各種展示と模擬店	・人権同和問題講演会 ・わくわく学級発表会 ・平井保育所和太鼓 ・保・幼・小・中の作品発表 ・識字教室発表 ・トイトーンズによる人権コンサート ・子どもひろば ・その他各種展示と模擬店



[まいたに・解放文化祭]



[ひらい・解放文化祭]

(6) 家庭教育支援

家庭や地域の教育力の向上をめざし、幼児教育や家庭教育などの子育て学習会や、保護者・学校の先生・人権文化活動推進協議会の委員たちの参加で、子どもたちのことを考える地域懇談会などを開催しています。

具体的には右記のような取り組みがあります。これらに参加することで子どもの自立を支援していきます。

- ・子育て学習会
- ・地域懇談会
- ・幼児教育学習会
- ・教育相談
- ・自主学習の支援

(7) 人権講座

楽しみながら人権を学び、人権尊重の意識を高めていく講座です。

最近の講座には右記のようなものがあり、会場は各人権文化センターで開催しています。

- ・子ども人権人形劇
- ・子ども人権お話会
- ・子ども人権映画会

(8) 各種講座

子ども向け珠算・絵画・書道・英会話、大人向け英会話・手話・コンピューター・絵画・ダンスなど様々な講座が開かれています。趣味や教養を深める中で人々の交流と人権意識の向上に役立っています。

13. 宝塚市人権・同和教育協議会について紹介します

宝塚市人権・同和教育協議会は同和問題をはじめとする様々な人権問題を解消し、宝塚市に住むすべての人々の人権が損なわれることなく、心豊かに暮らせる人権文化が薫る街づくりのために、人権教育・啓発を進めている協議会です。略称は『宝同協』です。

宝 同 協 の 願 い

1. 生まれてきたかけがいのないすべての「いのち」が愛に育まれ、すくすく育ちゆくこと
2. 年齢や性別、障がいがあるなし、在日や外国籍であろうがなかろうが、病気であってもなくても、過去がどうであれ、すべての市民が違いを認め合い人権を尊重すること
3. 立場が弱いとか、少数であるとか、他と違っているとか、また、出身地、学歴、職業、肩書き、心身の状況などの理由によって、いかなる差別もしない、されない社会をつくること

(1) 広報誌の発行

2010年より宝同協の広報誌として『芽生え』が年2～3回発行しています。現在30号まで発行されています。

『芽生え』の由来は、「ものごとの起こりはじめ」です。萌え出た芽は根を広げ、茎を伸ばし、葉を茂らせ、そして花を咲かせ実をつけます。『人権』という名の実をいっぱい実らせたいという思いで名づけられました。



(2) ハーとん じんけん 作品 募集

宝塚市が人権文化の薫る街となり、すべての人たちの人権が大切にされ、差別されことなく、明るく幸せに暮らせるための啓発作品として、毎年「ポスターの部」「標語の部」「作文（詩）の部」「写真の部」で、「ハーとん じんけん作品」の募集を行っています。

☆募集対象：宝塚市内の小・中・特別支援学校・

高等学校に在籍する児童生徒、並びに宝塚市在住・在勤の方

☆応募内容：人権・部落課題を正しく認識し、差別の解消をめざすものなどの、人権尊重のあり方を考え、表しているもの。



ハーとん



2023年度 ポスターの部 最優秀作品



(3) 研究大会 の 開催

『人権交流学びのつどい』と名付けられた研究大会は、2011年度の第1回から開催している宝同協の大きな取り組みのひとつです。

「あなたに伝えたい わたしの思い」を大会テーマとし、先生や市民・PTA・行政・働く仲間そして、子どもたち、大会に集う全ての方々が学び、交流できる手づくりの会にしていこうことを目指しています。

＊ ＊ 第 1 3 回 人 権 交 流 学 び の つ ど い ＊ ＊

2024年1月20日（土）午後1時30分～4時30分 宝塚市教育総合センター

全体会 オープニングセレモニー（小浜幼稚園・西山幼稚園）・つどいの趣旨説明と報告者紹介

分科会 7分科会参加者計 193名



全体会



分科会

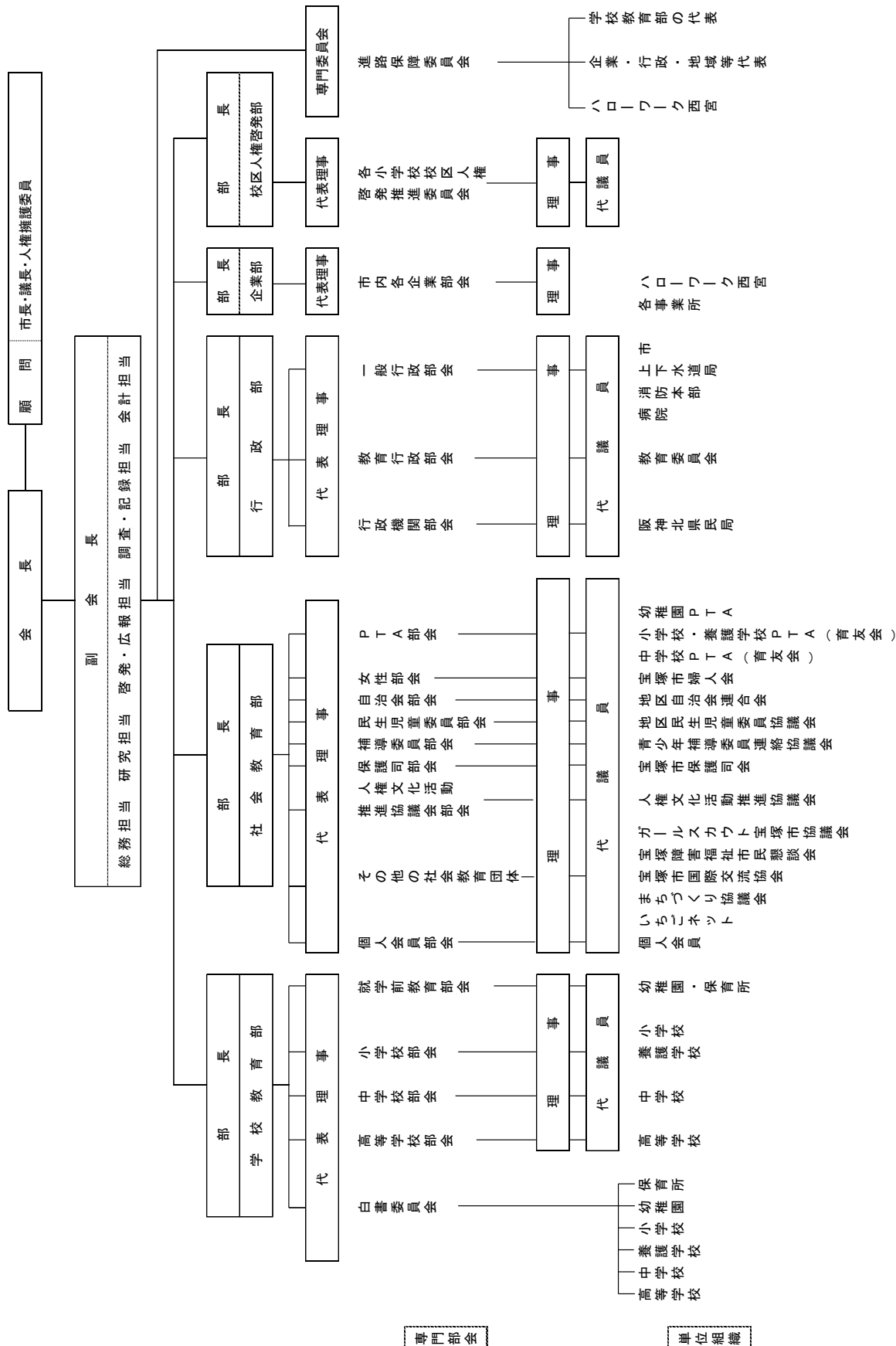


分科会

宝同協50周年

宝同協は1973年に設立し、数々の人権・同和教育の実践と啓発活動を行ってきましたが、2024年で50周年を迎えました。今年5月16日にソリオホールにて宝同協定期総会後、50周年記念式典を開催いたします。

2020(令和2)年度～現在
宝塚市人権・同和教育協議会組織図



専門部会

単位組織

14. 小学校区人権啓発推進委員会について紹介します

宝塚には現在23の小学校があります。その校区ごとに「人権啓発推進委員会」があることは、みなさんもお存知のことと思います。この委員会は「宝塚市人権・同和教育協議会」の組織に入っていて、1985年（昭和60年）からスタートしています。

各推進委員会では、各校区の実情をみながら学習活動（委員学習会）・啓発活動・市民集会の年間計画を立てて実施しています。推進委員会の合い言葉は“校区の人に年1回は参加してもらおう”です。

事務局は各小学校に置かれ学校・行政・幼稚園・保育所・PTA（育友会）・自治会・まちづくり協議会・企業、その他あらゆる校区内の組織や団体、個人が参加して交流と連携をしています。また、推進役には地域人権教育活動推進員（宝塚に64名）と小学校、PTA（育友会）役員、担当行政職員が積極的に当たっています。

このような組織と活動は他市では珍しく、宝塚市の人権啓発の中心的役割を果たしていることに注目を集めています。

最近では内容や手法等の工夫を凝らし効果的に活動するため、校区間や他の関係団体との交流、連携に力をいれています。さらに、各小学校校区の情報交換を兼ねた市全体の研修会を開催し、運営している委員の意識向上を図っています。

(1) 学 習 活 動（委員学習会）

校区の実情、実態、組織、運営はそれぞれ違いますが、毎年、知恵を出し合いながら工夫して計画し、少しでも多くの住民に関心を持ってもらい、参加してほしいと取り組んでいます。

いくつかの例をあげてみます。より多くの地域の人々が参加できる、そして、楽しく学べる人権学習会を実施しています。

	活 動 内 容 例
1	解放文化祭を見学して交流や学習を行う
2	施設見学から学ぶ人権学習・フィールドワークを行う
3	ワークショップで道徳や人権同和学習を行う
4	朝日新聞襲撃事件から人権平和を学ぶ
5	くらしの中で防災学習を行う
6	発達障がいの子どもを育てる交流学習
7	人権落語“笑いはコミュニケーションの潤滑油”で学ぶ
8	音楽祭でつなぐ人権学習を行う
9	防災・人権コンサートを行う
10	子どもと一緒に学ぶネット学習
11	部落差別解消推進法と人権教育の問題を考える
12	LGBTQ+をテーマに交流学習を行う
13	人権ビデオを鑑賞し、テーマについて話し合う
14	くらしの中の人権と子育て
15	子どもの未来のため「食」から考える
16	自分が好き自己肯定感



〔人権学習会の様子〕